

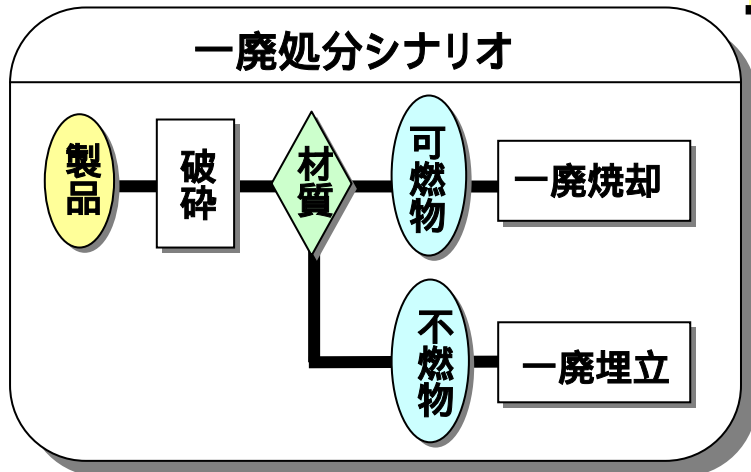
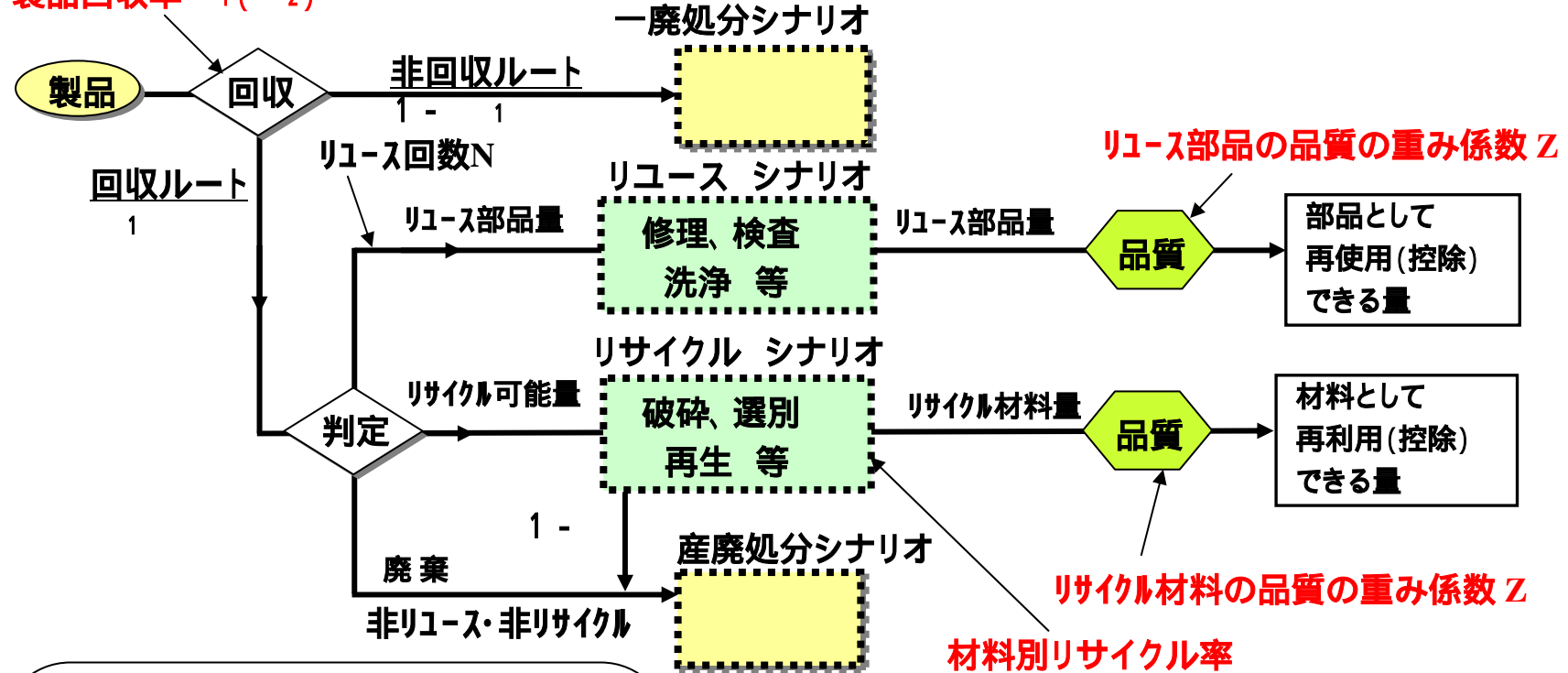
| No. | 大項目                     | 中項目                | 小項目  | 取り決め事項   |   |
|-----|-------------------------|--------------------|--|--|---|
| 1   | PSC 設定の前提               | 製品                 | 定義   | コンピューター入力端子を持つ拡大投影機で、画像変換ユニットが「透過型液晶デバイス方式」及び「反射型デバイス方式」等の固定解像度方式ライトバルブ方式のものを対象とする。  |   |
| 2   |                         |                    | 範囲   | 付属品は次の範囲とする。<br>・コンピューター接続ケーブル、電源用ケーブル、リモコン、電池等 全ての同梱品<br>・全ての包装材(汎用的に繰り返し使用されるものは除く)<br>・紙またはCD-ROM などのマニュアル類。  |   |
| 3   |                         |                    | ステージ   | 範囲   | 全ライフサイクルステージ(本プログラムで規定する PEIDS に掲げるすべてのステージ；製造、物流、使用、廃棄・リサイクル)を対象とする。   |
| 4   | 製品データシート<br>(LCI 入力データ) | 製造ステージ情報<br>(製品情報) | 製品材料<br>または<br>原料構成                          | 1) 資源投入量は、製品となった段階の材料質量とし、製品質量の 90%以上の材料を種類別に分類、残りは比例配分し 100%換算する。<br>2) 製品データシートに記載する材料名は、普通鋼、SUS、アルミニウム、その他金属、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、ゴム、ガラス、紙、半導体基板、木材の 11 項目とする。この 11 項目以外のものは原単位名を記載する。   |   |
| 5   |                         |                    | 製造ステージ情報<br>(製造サイト情報)                        | 投入・消費・排出される物質とエネルギー  | 投入・消費項目：<br>電力、A 重油、軽油、灯油、ガソリン、LNG(都市ガス)、LPG、都市用水、工業用水、地下水<br><br>排出項目：<br>特定せず。但し、各社で重要と判断したものを記載する。<br><br>副産物、副資材は計上しない。<br>製造サイトで投入されるもので、製品と共に出荷されない資材を副資材と定義する。 |
| 6   |                         | 物流ステージ情報           | 製品の輸送条件                                      | 1) ユーザーまでの輸送手段、積載率は、申請各社が設定するモデルに基づくこととする。<br>2) 輸送距離は、500 kmとして算定することとする。<br>海外から国内への製品輸送負荷は計上しない。<br>3) 本体の包装の廃棄・リサイクルは、No.8の「廃棄・リサイクル」に入れる。   |   |
| 7   |                         | 使用ステージ情報           | 製品の使用条件                                      | 1) 使用条件<br>1日あたり3.5時間、年間1000日、5年間の使用とする。   |   |
| 8   | 製品環境情報開<br>示シート(PEIDS)  | インベントリ分析           | 製品の廃棄・リサイクル条件                                | 1) シナリオの設定<br>別紙「使用後製品の廃棄・リサイクルシナリオ」を採用する。<br>1. 回収ルートは、各社で輸送を含むシナリオを設定。<br>・ リユースシナリオ<br>・ リサイクルシナリオ<br>材料別リサイクル率(%)は、各社で設定する<br>・ 非リユース/非リサイクルの産廃処理シナリオ<br>2. 非回収ルートは、「一廃処理シナリオ」(別紙参照)を採用。<br><br>2) 控除のシナリオ<br>別紙「使用後製品の廃棄・リサイクルシナリオ」を採用する。<br><br>3) リサイクル、リユース可能性の判定基準<br>判定基準は各社で、個別に定める。<br><br>4) 製品回収率<br>$r_1$ を採用する場合は、 $r_1 = 1\%$ とする。<br>又は、各社の実績値でも良い。<br><br>5) 製品のリユースの場合<br>各社の設計値に基づき、使用期間5年間を過ぎてリユースする回数 $N_1$ を設定する。 $N_1$ は整数とする。<br>また負荷の計算は、上記を使って、<br>部品リユースの控除量 = “各社の設計時点で計画したリユース可能量” × “製品回収率 $r_1$ (又は $r_2$ )” × “リユース控除率 ( $N_1 / N_1 + 1$ )”<br><br>6) 消耗品や交換部品の場合<br>対象品の寿命中でのリユース回数を $N_2$ 、5年間での使用個数を $n$ とし、端数は切り上げて整数とする。<br>また負荷の計算は、上記 $N_2$ 及び $n$ を使って、<br>部品負荷 = “部品1個の製造までの負荷” × “5年間での使用個数 ( $n$ )”<br>部品リユースの控除量 = “各社の設計時点で計画したリユース可能量” × “部品回収率(又は $r_2$ )” × “リユース控除率 $N_2 / (N_2 + 1)$ ” × “5年間での使用個数 ( $n$ )”<br><br>7) リサイクル、リユースされずに廃棄される製品又は部品の処理負荷の具体的計上方法<br>別紙「使用後製品の廃棄・リサイクルシナリオ」を採用する。<br><br>8) リサイクル材料、リユース部品の品質の重み係数<br>別紙「使用後製品の廃棄・リサイクルシナリオ」を採用する。<br>1. リユース部品の場合・・・ $Z = 1$<br>2. リサイクルの場合<br>金属・・・ $Z = 0.5$<br>その他・・・ $Z = 0.35$ |   |
| 9   |                         |                    | インパクト評価                                      | LCI 計算式  | 生産サイトの実測データがない場合の組立負荷は、<br>製品質量 × 2 × 組立原単位<br>とする。   |
| 10  |                         |                    | データ加工  | アロケーション  | 統一せず、各社で適宜決定する。   |
| 11  |                         |                    | データ収集  | 収集範囲   | データを把握できない場合は、設計時又は計画時の条件を含むデータ(含む原単位)で代用しても良い。   |
| 12  | データ収集                   | カットオフルール           | 組立負荷等についてカットオフを適用する場合は、その旨を明記し、かつその理由を明確にする。 |  |   |
| 13  | 製品データシート<br>に関連)        |                    |  |  |   |

| No. | 大項目                    | 中項目     | 小項目          | 取り決め事項  |
|-----|------------------------|---------|--------------|---|
| 14  | 内訳データシート<br>(PEIDS 関連) | データベース  | 原単位データベースの選定 | 各社が決めた購入部品については、「部品組立」を採用。<br>光学部品のコーティングは「部品組立」の原単位を用いる。<br>蛍石やサファイヤはガラスとして取り扱う。<br>ランプの定義：ランプとはリフレクター一体型ランプとする。<br>ランプ=「ガラス」+「ガラス成形加工」+「部品組立」・・・「部品組立」(コーティング加工)は全ランプ質量に対して計算<br>デバイスは「半導体パッケージ」とする(素材、加工含める)<br>その他の基板については、トランス、ヒートシンク、コネクタ等を除き「実装回路基板」として計算し、除いたトランス、ヒートシンク、コネクタ等は個別に原単位を用いて計算する。<br>モータは「中型モータ」を採用する。<br>リモコンは分解してそれぞれの原単位を用いて計算する。 |
| 15  |                        |         | 原単位データベースの追加 | 追加はなし。  |
| 16  |                        |         | 特性化係数の追加     | なし  |
| 17  | 製品環境情報                 | 製品仕様    |              | 1.方式 (LCP・DLPなど)<br>2.輝度 (ANSIルーメン)<br>3.画素数  |
| 18  |                        | データ公開内容 |              | 1.記載項目<br>必須項目として規定(ガイドライン)されている、「温暖化負荷、酸性化負荷、エネルギー消費量」を記載することとし、選択項目の7項目(ガイドライン)は記載自由とする。<br>2.対象ライフサイクルステージ<br>記載自由とする。<br>3.使用条件の設定<br>使用期間(年間)、使用時間(時間)を記載する。<br>4.表現方法<br>文章、表、グラフいずれの選択も自由とする。  |
| 19  | その他環境関連情報              | 選択記載項目  |              | 下記のものを記載できる。<br>1. タイプ および/又はタイプ の環境ラベル<br>2. ISO14001 認証の取得<br>3. 国または工業会等の認証・認定・表彰<br>4. 有害物質<br>(何を有害物質とするかは各社の判断とする)  |



# 使用後製品の廃棄・リサイクルシナリオ

製品回収率  $1(2)$



## 用語の説明

- ・「製品回収率」: 使用済製品中の回収された製品数の比
- ・「リユース回数」: 部品単位のリユース回数
- ・「品質の重み係数」: リユース、リサイクルで控除可能な比率
- ・「材料別リサイクル率」: リサイクル工程での歩留まり率
- ・「可燃物」: プラスチック、ゴム、紙、木材
- ・「不燃物」: 可燃物以外の材料